

令和元年度全国学力・学習状況調査について

1 結果概要（本校と新潟県、全国の正答率の比較）

教科	本校	新潟県	全国
国語	76%	74%	72.8%
数学	53%	60%	59.8%
英語	64%	55%	56%
英語（話すこと）	28%	—	30.8%

2 結果の分析と指導改善のポイント

国語

- ・「関心・意欲・態度」・「読む能力」・「記述式」・「自分の考えを記述する問題」の問題の正答率が高く、自分の考えを持ち、的確に表現できる生徒が多いと言える。一方で、無解答率が高いことが課題である。
- ・全国平均より正答率の低い問題は、「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える」・「封筒の書き方を理解して書く」・「話し合いの話題や方向を捉える」であった。文章や話し合いの流れや展開を捉えることが苦手であり、分量の多い文章から必要な情報を整理することが課題だと考える。

⇒文章の展開を捉える力をつけるために、文章を要約したり、要点を捉えたりする活動を行う。

数学

- ・全体的に正答率が全国平均、新潟県平均をともに下回っている。特に無解答率を注目すると、連立方程式 17.5%・反比例 27.5%もあった。「数学の基本的な知識が身に付いていないこと」「与えられた情報を正確に読み取り、数学的に解釈し、問題解決の方法を説明すること」「問題に対して取り組もうとする姿勢」が課題である。

⇒①数学用語の意味や定義を自分で説明できるように指導する。

- ②既習事項の振り返りを行う。既習事項と未知の問題の関連を考えさせる。
- ③新たな問題に対しても、試行錯誤しながら粘り強く解決しようとする態度を養う。
- ④1人では解決できない問題をアドバイスし合える雰囲気をつくる。
- ⑤成功体験を積み重ねて、学習へ取り組む意欲を向上させる。
- ⑥小テストを定期的を実施して、基本事項を定着させる。

英語

- ・書くこと：基本的な語や文法事項等を理解して書けていた。
- ・読むこと：まとまりのある文章を読み、大切な部分など正確に理解できていないことが課題である。
- ・話すこと：「様々な話題について英語で読む、話すことに慣れていない」・「基本的な文法を理解して応答できていない」・「会話が長くように即興でやりとりができない」ことが課題である。

⇒①簡単な語句や文を用いて即興で話す活動・キーワードを基に内容を膨らませて話す活動を増やす。

- ②様々なリーディング活動を取り入れる（絵を見てどの文に対応しているか考える・要約するなど）。

3 質問紙調査について

「読書は好きですか」・「自分にはよいところがあると思いますか」・「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対しては新潟県・全国を上回る結果だった。一方で、挑戦すること・やり遂げること・協力すること・他者を助けること・規範意識・生活習慣などに関する項目では課題も見られた。

⇒①行事などでの成功体験を通じて、向上心を持って仲間と高め合う雰囲気を醸成する。

- ②手帳を活用して起床時間・学習開始時間・就寝時間を固定できるように指導をしていく。